



三潁保育園 園だより

June 2023



クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

たんぽぽ組

- ・雨が降っている様子や音に興味を示したり、音楽に耳を傾けたりすることで、この季節ならではの雰囲気を感じる。
- ・繰り返し絵本を読むことで絵や言葉のリズムに興味を示し、次のページの展開を楽しみにする。

もも組

- ・梅雨の自然や気候に関心を持ち、制作や遊びの中で楽しむ。
- ・室内でも体を動かしてのびのびと遊び、心地よさを味わう。

ばら組

- ・雨や水溜まりなど身近な事象に触れながら、梅雨の事象に興味を持つ。
- ・保育者に見守られながら好きな遊びを存分に楽しむ。

うめ組

- ・梅雨期の自然を見たり生き物に触れたりして興味を持つ。
- ・色々な物の扱い方を知る。

すみれ組

- ・梅雨の自然を見つけ、友達や保育者と一緒に新しい発見をする。
- ・気温に合わせて、衣服の調節をし、快適に過ごす心地よさを味わう。

ゆり組

- ・お互いの思いや考えを伝えあい、それらを活かして工夫する楽しさを味わう。
- ・天気や梅雨の現象に興味を持ち、特徴に気付く。



名頭園 弥生 中村 理沙

日本保育学会 第76回大会〔5月14日(日)〕にて発表しました!

テーマ「アイデアから広がる世界~子ども主体の保育を目指して~」

昨年度ゆり組【七夕ジャンボリー】の活動について子どもの創造性や職員の関わりの変化について発表しました。多くの大学教授の先生方や保育園関係の方とオンライン上で討議しました。

子ども達が主体となって進めた活動では、大人が思ってもいないような考えが生まれ、きっと上手くいかないだろうと思ったことも自分達で解決しようとする力、協働性など沢山の学びの場があります。それをどう支えていくのかを私達は考え、これからの未来を担う子ども達が、遊びの中で沢山のことを学んでいける機会を保障していくことが私達の大切な使命であると語り合いました。対話する中で子どもの多くの育ちに気付き、支えることを大切にしていきたいと思ひます。



紫陽花がきれいに色づき始める季節となりました。子ども達は生まれたばかりの小さな小さなカタツムリの赤ちゃんを見つけては虫かごに入れ、観察をし、何を食べるのか話し合ってお世話をしています。

さて、先月の春のピクニック(お弁当の日)では、多くのご家族にお越しいただきました。ゆり・すみれ組は電車で、鳥類センターへ。みんな揃って電車でのお出掛けはまるで小旅行気分。景色だけでなく行き交う電車を眺めたり、運よくキッチン列車に遭遇したりと行き帰りの時間もとても楽しむことができましたようです。また、うめ組からたんぽぽ組はハヤニシ公園へ。最初のミッションは、電車に乗っているゆり・すみれ組に手を振ること。あっという間に通り過ぎてしまいましたが、ばら組は手作りの旗を片手に無事ミッション完了となったようです。小さな子ども達は、家族と一緒に過ごせるのが嬉しく、抱っこや手を繋いでもらいながらハヤニシ公園の春を満喫したようです。参加下さったご家族の皆様からは、比較的日常に近い、“普段の我が子の様子が分かった”とお喜びの声をいただきました。

さて、2ヶ月が経過し、どのクラスも活気溢れる様々な活動が展開し始めています。面白いのは、「〇〇植えたい」「育てたい」と自発的な意欲が満ち溢れていること。すくすく農園へ野菜の苗植えや水やりに行ったりスナップエンドウを収穫したり、あちらこちらにうめの収穫に行ったり…と毎日本物の農園のように忙しい日々を送っているようです。そのような日々を通して、葉の形や大きさ、花が咲き始めるなど生育の変化、水の量が足りているかなど様々なことに気付き、時には大人が気付かないようなことを教えてくれます。私達は共に過ごす中で子どもの視点・想いに気付き、更なる好奇心・探求心などキラキラしたまなざしの学びに向かう力を大切にしていきたいと思ひます。

名頭園 弥生

6月の行事

15日(木)	避難訓練	24日(土)	プール開き準備
19日(月)	お弁当の日		父母の会 役員会
20日(火)	キッズニア福岡	27日(火)	お誕生会
	ゆり組・すみれ組※申し込み済の方のみ	28日(水)	プール開き

「叶えたい」が原動力になる

学生の頃、しばらく英語圏に留学していた頃の話。当時、現地で語学学校に通っていた私は、担任の先生から「今まで数多くの生徒を担当していたけれど、あなたほどミステリアスな学生はいなかった」と卒業間際に言われました。クラスのほとんどがヨーロッパからの学生。フランス・ドイツ・スイス等から来ていて、アジア・日本からの学生はわたし一人だけ。授業はほぼディスカッションで、一つの事柄について意見を交わすこと。つまり、文法や長文読解などの正解を求めるものよりも、とにかく意見が求められることが多い時間でした。

さて私が稀代のミステリアスガールだと思われていた理由はというと、クラスでほとんど話さなかったから。担任は「この子はクラス分けが間違っており、英語を理解できていないのだろう」と思えば、ペーパーテストをすればきちんと点数を取る。「この子はテストの結果では英語を理解していると出るのに、なぜ人形のように黙ったままで話に加わらないのか？」という事が不思議だったのだそう。

日本のテスト英語に慣れていた私は、文法や長文読解等テストが得意なだけだったのです。つまり、問題は解けるけど、話すことをしていない私は、完璧な文章でつらつらと話せないことは恥ずかしいことだと思っていたのです。だから、そのクラスでも友達が次々に身振り手振りで会話のキャッチボールを繰り返す中で、「私なら、今、こう答えるな。」と脳内のシュミレーションばかり。文法的にはこれが正しいとか、単語はあれだ、とか。「よし、準備できた！話すぞ！」そうこうするうちに、会話はぐんぐんと進み、私の話すタイミングはなくなる。そんなことの繰り返しでした。まるで、考えてるうちに会話のチャンスを毎度失うひな壇芸人のようなイメージ。失敗を恐れてばかり。

だけど、当時そのクラスの同級生たちの賑やかなディスカッション、実は文法なんてめちゃくちゃだし、時折母国語も交えながら会話をしていたのです。最終的にはイタリア語とフランス語で収拾つかなくなる程の言い合い！テストの点数なんて、全然気にしない！こちららは、例えるなら、出川イングリッシュ。何とかたどり着いて、自分の自信にしていける感じ。

そんな友人たちの「間違いをものともしない」ハチャメチャ英会話に気づいていたのにもかかわらず、わたしは「間違い」ことに意気地なしで、脳内で会話のシュミレーションばかりをしていたのです。勉強としての「英語」が分かるだけでは、人生の何の役にも立たないと学んだのが、私の留学でした。

さて、話は少し変わりますが年長ゆり組の子ども達が良く遊んでいるものを紹介します。「おれんじいろ いっぱいたべたい ほしがき」(まさき)
「うめじゅーす ざいりょうは うめと おさとうと す」(なほ)
「めっちゃ たのしかった おゆうぎかい」(あおい)

「わたしの おともだち ハイジちゃん」(ゆの)
「においはあまい いいにおい たべたらすっぽくてあまい いちご」(まつり)
「しぶがき そのままたべると まずかった」(たくと)
「らんぶ あかいろ しょうぼうしゃ かじのくるま」(りょう)
「けんかしたときは しんこきゅう」(ゆうさく)
「たいへん いっこずつ おこめ おさらに いった」(さら)

これは、自分達が作ったかるたの文章。全部、年中の1年で経験したり感じたことです。秀逸！分かるようになった文字で、思った文章を書く。そして、決してそれを飾ったり、引き出しの奥にしめたりせず、仲間と遊ぶ。宝の持ち腐れ等せず、自分の最大限を知識や経験を遊びに使う。点数を気にせず、人の評価を気にせず。

学生時代、間違いを恐れ、もったいなくて、つまらない時間の使い方をした私は子ども達の「叶えたい！」を原動力に、叶えちゃう姿を頼もしく感じ「いけ！いけ！」と心の中で微笑んでいます。

四角いマスの上手に書いて、人からマルをもらって喜んで終わるより、その途中途中でもっと楽しく、嬉しく、満足を感じられることに変換しながら過ごし、次のステップに進むことは、子どもの発達の特長にあっているのだらうと思います。

このような工夫や寄り道で見られる子どもたちの成長に、スタッフ達は手ごたえを感じ、また更に目の前の子ども達の為にカスタマイズした日々を考えています。

三潯保育園の〇歳児クラスはかくあるべき！とこだわっているスタッフは、どうやらいなさそうだな、というのが最近の私の所感です。それぞれの学年で個性がありますから、それに向き合いながらスタッフ同士が考えをめぐらしているようです。

ここ最近、どの学年も何かを植えたり、収穫したり、それを加工したりとちょっと忙しいです。その中でも年長のゆり組はベテラン風が吹いています。担任ふたりは、子ども達が「今年もやるよね？梅」と当たり前話をもち掛けてくるのが面白いと語ります。「そうなれば、手順はだいたい分かるし、必要な物もわかってるでしょ？」と私が返すと、「氷砂糖ですね。買ってきていいですか？」と担任。「それはもちろん。子ども達が行くんでしょ？」と私。「いいですか？」と担任。「駄目な理由はないよね」と私。これまでの経験もまた「叶えたい！」の原動力になります。「自分達ならできるよね、分かるよね」という自信。

そんなこんなで西鉄ストアに行った年長が、追加で買ってきたのは「パンケーキ」の材料。春先の散歩で小麦に興味を持った子ども達とまた何か考えているようです。頼もしい限り。今までの経験に、新たな何かを加えながら豊かな一年を過ごすのでしょね。 裕子

